J.P.

〈財政用語解説〉

【歳入】

自主財源…市税や市の施設の使用料な ど市が独自で調達できるお金。

【市税】市民の皆さんが納めた税金。 市民税や固定資産税など。

【諸収入】貸付金の元利収入など。

【繰越金】前年度から今年度へ持ち越 されたお金。

【繰入金】各種基金から特定の事業の ために取り崩したお金。

【その他】公共施設の使用料、各種手 数料、財産収入、寄附金など。

依存財源…地方交付税や国・県支出金 など国や県から市に入ってくるお金。

【地方交付税】地方の財政格差をなく し、公平な公共サービスを提供する ため、国から地方公共団体へ交付さ れるお金。

【国庫支出金・県支出金】市の特定の 事業に対し、財源の一部として国や 県が支出するお金。

【市債】道路や公共施設を整備するた めに国や銀行から長期にわたって借 り入れるお金。

【地方消費税交付金】消費税5%のう ち1%が地方消費税で、一定の基準 により配分されるお金。

【その他】地方譲与税、地方特例交付 金、自動車取得税交付金など。

【歳出】

【民生費】高齢者福祉や障害福祉、児 童福祉などの経費。

【公債費】市の借金などの返済経費。

【衛生費】ごみ、し尿処理、予防接種、 健康診断などの経費。

【総務費】総務管理や企画・税務事務 などの経費。

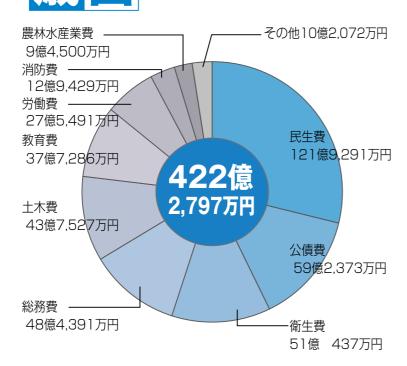
【土木費】道路や公園の施設整備・維 持管理などの経費。

【教育費】学校や公民館などの改築 維持管理などの経費。

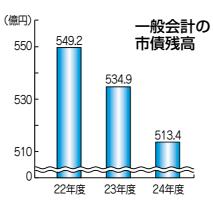
【労働費】労働対策などの経費。

【消防費】消火・救急活動などの経費。 【農林水産業費】農林業の振興などの

【その他】議会費、商工費、諸支出金、 災害復旧費など。







残高は4年連続で減少合併以降、市債(借金) 道路整備などの 市債(借金)

ത

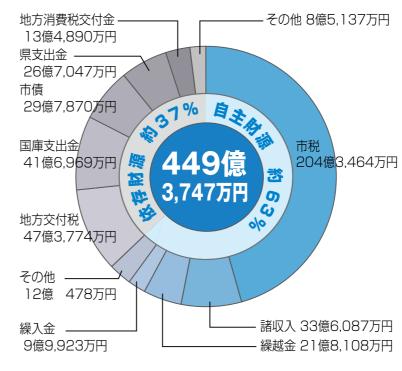
おける市債残高の合計を、平成227年度末までに、すべての会計に金の残高は4年連続で減少。平成 69億円減らすことを目標にしてい 年度末から約6・9%、 ために借りたお

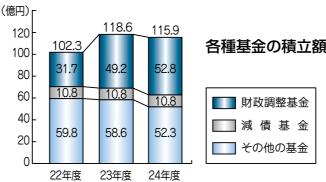
約歳 17出 意円減に、平

たが、その他の支出を抑え、 事業などの施設整備費は増えまし としては約17 :億円減少)しました。 億円減少し 全体

平成23年度より

ました。市民会館のリニュー度と比べて全体で約17億円減歳出(市の支出)は、平成 平成23年





基金(貯金)を活用効果的な事業展開に 向け、

設整備基金」を、市民会館リニューは、積み立てていた「総合文化施は、積み立てています。平成24年度めていくために、いくつかの基金のでいくために、いくつかの基金の事業を効果的・効率的に進 アルのために活用しま

約12 億円 は、 億円減 平成23年度より

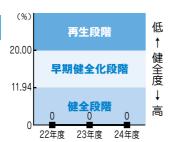
度と比べて全体で約12億円減少。 税が約1 付される支出金が約4億円減少し 主な要因としては、 たことが挙げられます。 (市の収入) 億円減ったためです。 は、 国や県から交 平成23年 さらに市

■財政課 ☆643・3234 回は、9月議会で承認された平成24年度決算をお知らせします、い市民生活を実現するために、さまざまな形で活用しました。 平成24年度に市民の皆さんに納めていただいた税金は、より良平成24年度に市民の皆さんに納めていただいた税金は、より良

3 Fujieda H25.10.20

経費。

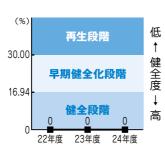
本市は両会計で黒字であるため、該当しません。



②連結実質赤字比率→3年間赤字なし

市のすべての会計の赤字や黒字を合算し、市全体 の財政運営の悪化度合いを示すものです。

本市は全会計で黒字であるため、該当しません。

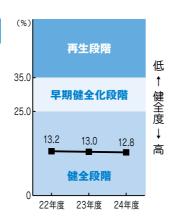


③実質公債費比率→前年度より0.2%改善

借入金の返済にかかる負担の重さを示す指標で、 市のすべての会計と一部事務組合(志太広域事務 組合など)が対象範囲となります。

本市は、23年度(13.0%)と比較すると、0.2% 改善されました。

改善の主な要因は、青木中央公園などの整備が終 アしたことにより、都市計画税などの特定財源を、 借入金の返済に充当したためです。

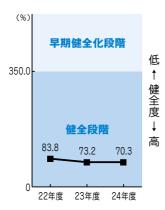


④将来負担比率→前年度より2.9%改善

市のすべての会計の借入金や将来払っていく可能 性のある負担など、現時点での残高を指標化し、 財政への圧迫度を表すものです。

本市は、23年度(73.2%)と比較すると、2.9% 改善されました。

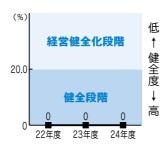
改善の主な要因は、一般会計の借入金の残高や、 病院などの会計の借入金負担見込額が減少したた めです。



⑤資金不足比率→3年間資金不足なし

公営企業会計と簡易水道・公共下水道・農業集落 排水事業の3つの特別会計の資金不足額の事業規 模に対する比率で、経営状況の悪化度合いを示す ものです。

本市は、すべての会計で該当ありません。



準を下回り、**健全な状態**です標でみると、いずれの項目も本市の財政状況を地方公共団 自も早 。直近3カ年の状況を報告します早期に改善しなければならない其体の財政状況を判断する5つの均 ます基指

特別会計決算額

国民健康保険や介護保険といった制度に伴う事業や、農山村地域の生活 排水処理設備の整備、公共下水道事業などの特定の事業を行うための会 計です。

| 特別会計 | 収入額 支出額 | 備考 |
|-----------|-----------------------|------------------------------|
| 国民健康保険事業 | 140億1,316万円 | |
| | 139億 924万円 4,111万円 | |
| 簡易水道事業 | 4,111万円 | 朝比奈地区の配水管布設工事など |
| 土地取得 | 4,088万円 | 岡部宿内野本陣用地の一般会計へ の売り払いなど |
| 公共下水道事業 | 4,088万円 31億2,658万円 | |
| | 31億2,612万円 | 浄化センターの施設整備など |
| 駐車場事業 | 2,663万円 2,535万円 | 駅前駐車場の維持管理費など |
| 農業集落排水事業 | 7,819万円 | 曲儿光地光の控制の外状体で開発する |
| | 7,819万円 | 農山村地域の施設の維持管理費など |
| 介護保険 | 91億7,345万円 | 被保険者へのサービス実施など |
| 後期高齢者医療 | 90億3,855万円 12億8,624万円 | 広域連合への保険料の支払いなど |
| | 12億2,671万円 | |

公営企業会計決算額

市では総合病院と水道事業において、民間の企業に準じた会計方式を 採っています。事業収支が収益状況を表し、この差し引きがいわゆる黒 字・赤字といわれます。資本的収支とは、収益以外の収入と支出を表し、 施設整備などの建設事業費や借入金の元金返済などです。

病院事業会計

| 作的分子不口口 | | |
|---------|-------------|------------------|
| 区分 | 決算額 | 備考 |
| 病院事業収益 | 134億3,661万円 | 診療に必要な医師や看護師などの人 |
| 病院事業費用 | 139億6,995万円 | 件費、薬の購入費など |
| 資本的収入 | 11億 707万円 | 医療機器購入や借入金の返済など |
| 資本的支出 | 15億7,724万円 | |

水道事業会計

| 区分 | 決算額 | 備考 |
|--------|------------|------------------|
| 水道事業収益 | 22億5,452万円 | 上水道供給のための施設維持管理経 |
| 水道事業費用 | 20億6,374万円 | 費など |
| 資本的収入 | 7億6,079万円 | 水道管の布設や借入金の返済など |
| 資本的支出 | 14億 958万円 | |

平成26年度から28年度までの

「見通し」作成の目的 本市では、第5次総合計画

るため、 や国の制度改正などを的確に 作成することにしました。 私たちを取り巻く情勢の変化 視点は不可欠です。そのため を行うためには、 変化する社会経済情勢に対応 度に作成しました。 における財政計画を平成22年 持続的に健全な財政運営 予算編成に反映させ 財政収支の見通しを 中長期的な しかし、

3カ年の財政収支の見通しの3カ年としています。今回の3カ年としています。今回のな変化も考慮し、当面は平成な変化も考慮し、当面は平成

また、

この3カ年では、

試みです。 ろん本市においても初めての り組みは珍しいもので、 いるものの、 市町単位での取 もち

しているため、 近年の本市の取り組みによ 市の借金である市債が減 将来負担比

少 Ŋ

> でも上位の基金残高を確保で 保できる見通しですが、加え 金の活用で、 むと考えています。 て例年並みの繰越金が確保で

率などの指標が良い方向に進

今回の財政収支の見通しに

くでしょう。

の縮減に努めます などを引き続き実施し、 事業を細かく確認していきま 経費の縮減に心掛けるととも 県などから特定財源の確保と また、

たため、税率の変化は見込消費税の動向が不透明だっ んでいません

現在の基

収入は確実に確

きる見込みです。 今までのように県内

基金を活用し、 収入は着実に確保

特定財源を確保 市債残高は減少

これらの事業についても、 算を組む事業も考えられます。 修や整備といった大規模な予 路や水路、 公共施設などの補この3カ年では、道

発行額を抑制することにより、新規の市債 と見込んでいます。 市債残高は減少していくもの や県などからの特定財源をで

さらなる健全化に向けて

政需要はますます増加してい 長期的な視点で見た場合、 社会保障費の自然増などを、 は織り込まれていませんが、

本市ではこれからも、 全事業の総点検を行い 部別包括予算制度

※今回、作成した時点では、

【全事業の総点検】 〈財政用語解説〉

および経費内容を見直し の事業を対象に事業内容 後述の部別包括予算を活

職員自らがすべて

効率的で戦略的な事業展

開を図るシステム

国や 【部別包括予算制度】

移譲し、

各部局長の責任

予算の査定や執行などの

権限を大幅に各部局長に

と判断のもとに事業決定

お金 て集め、 国や県が国税や県税と. 市へ配分される

(地方譲与税など)

を行うシステム

※自動車重量譲与税、 消費税交付金など 地方

市債残高の見通し



歳入

項目

地方譲与税など

地方交付税

国・県支出金

分担金および

負担金など

繰入金など

計

項目

市債

人件費

扶助費

公債費

繰出金

物件費など

補助費など

普通建設事業費

(歳出)

市税



【単位:

27年度

推計

20,043

2.018

3,190

7.691

886

7,132

3,617

44,577

27年度

推計

6,260

8,080

5,364

5,64

5,582

4.500

9,150

44.577

25年度

予算

19,980

2.001

3,190

7,450

886

7,645

2,828

43.980

25年度

予算

5,968

7,81

5,827

5,365

5,835

3.677

9,497

43.980

26年度

推計

20,324

2.013

3,190

7,323

886

7.012

3,496

44,244

26年度

推計

6,340

7,962

5,307

5,346

5,820

4.176

9,293

44.244

百万円

28年度

推計

20,344

2.024

3,190

7,791

886

6,858

3,554

44,647

28年度

推計

6,099

8,139

5,445

5,408

5,55

4,853

9,152

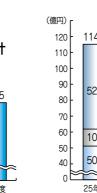
44,647

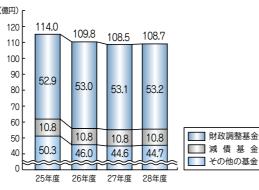
給料

本給 (市税)

諸手当

食費 (人件費)





基金残高の見通し

「見通し」を家計に置き換えてみると

収入項目

(地方譲与税、地方交付税、国・県支出金など

不動産収入など (分担金および負担金など)

支出項目

貯金の取り崩し (繰入金など)

銀行などからのローン(市債)

家族の医療費、教育費(共助費)

自治会・町内会費(補助費など)

ローンの返済(公債費)

子どもへの仕送り (繰出金)

家屋のリフォーム (普通建設事業費)

光熱水費、日用品など(物件費など)

市の予算は数字が大きすぎて実感が湧かないかも

しれません。そこで、この見通しを家計に置き換

えて、今後の動向がどうなるかを表してみました。

今後の動向

今後の動向

A

 \rightarrow

-

【人件費】

[繰入金など]

市の貯金(基金)の取り崩

24.4. が設の証明書発行手数票などの証明書発行手数

公共施設の利用料、住民公館などの

【分担金および負担金など】

保険料の雇用者としての 負担金など 職員の給料や手当、 社会

【扶助費】

制度に係る経費 生活保護などの社会保障

【補助費など】

どの謝礼、志太広域事務団体への補助金、講師な 組合への負担金など

【普通建設事業費】 道路・河川や 公民館な

どの公共用施設の整備に 係る経費

(委託料、光熱水費、公共用施設の維持等 話代や消耗品など) に係電理

[物件費など] 【繰出金】 どの会計への支出金 下水道事業、 国民健康保険事業、 病院事業な

の皆さんにお知らせをします。25年3月に公表しました。9回、平成24年度決算と併せて、今後の収支の見通しを、市民25年3月に公表しました。27年度まで(3カ年)の財政収支状況の見通しを作成し、平成26年度がら平成本市では、平成25年度当初予算を踏まえた平成26年度から平成